

日本労働組合総連合会
会 長 神津 里季生

被爆 75 周年原水爆禁止世界大会 メッセージ



被爆 75 周年原水爆禁止世界大会の開催に際し、
連合 700 万の組合員を代表して心から連帯のメ
ッセージを送ります。

2020 年は、多くの尊い命が奪われた広島・長
崎への原爆投下から、75 年の節目の年です。し
かし、75 年が経過した今もなお、世界には 1 万
3,000 発以上もの核弾頭が存在するとされてお
り、人類は核兵器の脅威から解放されていませ
ん。

本来であれば、本年 4 月にはニューヨークの国連本部で、5 年に一度の核兵器不拡
散条約（NPT）再検討会議の開催が予定されていました。連合、原水禁、KAKKIN は、
この NPT 再検討会議に向けて「核兵器廃絶 1 0 0 0 万署名」の活動に取り組み、多く
の方の賛同を得て 823 万筆を越える署名が集まりました。新型コロナウイルス感染症
の影響で会議の開催は延期されましたが、皆さまからいただいた平和への願いは、必
ず然るべき形で届けていきます。

連合は、原水禁、KAKKIN と共に、核保有国の大使館や総領事館を毎年訪問し、核兵
器廃絶にむけた各国のリーダーシップを要請しています。引き続き、組織全体で核兵
器廃絶と恒久平和の実現に向けた平和運動を推進し、多くの団体との連携のもと、更
なる取り組みを展開していきます。

世界大会の成功を心より祈念しております。